



花宴

筆：霜尾 勝様（ききょう入居者）

発行責任者

社会福祉法人積慶園
特別養護老人ホーム山科積慶園
施設長 石黒 善治
京都市山科区北花山大林町34番地
電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第44号 発行日：令和6年 4月 1日

入居者様に
寄り添う看護



特別養護老人ホーム山科積慶園
看護主任 伊達 阿樹

穏やかな生活を支え、入居者様に寄り添う看護。こんにちは。山科積慶園で看護主任をさせて頂いている伊達と申します。

私は20歳で宮崎から京都の病院へ就職のため来て京都での生活は19年になります。外科の急性期病棟、包括病棟で13年間経験を積み、退院支援に関わる中で施設へ行かれた方はどのように日常生活へ戻られるのか、必要な看護はどのように継続されていくのか1人1人の利用者様ともしっかり関わっていきたくらい施設での勤務を決めました。

特養では医師が常駐しておらず、看護師の判断力、知識が求められ、日々プレッシャーや葛藤もありますが、今までの経験を活かしつつ学ぶことも忘れず、自分の役割を果たしていこうと思います。病院とは違い特養は生活の場であり、入居者様の意思を尊重しつつ希望する生活、生き方を健康面から支えられるようにしなければなりません。入居者様の状態、小さな変化に早期に対応できるよう連携をとり、入居者様の穏やかな生活を支え、寄り添う看護を行っていきたくらいと思います。

楽しく笑顔で
暮らせる介護を



特別養護老人ホーム山科積慶園
ユニットリーダー 山川 夕紀

令和4年8月に山科積慶園に入職してから早いもので1年半が過ぎました。他の職場で10年程介護の経験はありましたが特養は初めてで、とにかく入職当初は新たな職場の環境に慣れる事、新たな人間関係に慣れる事、早く業務を覚える事に必死でした。その中で経験の長い先輩方の指導やアドバイスを受け、少しずつですが業務にも慣れてきました。そんな中、今年1月初旬、ふじのユニットリーダーのお話をいただきました。ありがたいお話しでしたが、自分はまだ経験も浅く周りに迷惑をかけてしまう。と一度お断りさせて頂いていただきました。しかし、期待に応えたい、リーダーとしての責任の重大さ、不安、自分の中で葛藤がありましたが、人生は一度きり、何事も挑戦してみようと決意に至りました。そして、2月よりユニットリーダーとして新たなスタートを切りました。これまで培ってきた知識や経験を活かして、皆様に満足いただける環境や機会、お一人お一人が楽しく笑顔で暮らせる最適な介護を提供できるよう、精進していきたくらいと思います。

《開設記念行事》

ANNIVERSARY

周年記念イベントで昼食に握り寿司の盛り合わせが提供されました。入居者様は、まぐろ・鯛・いくら・サーモン等、計10種類の盛り合わせをご覧になると「おいしそうだな」「どれから食べようか?」と



大喜びで、普段食事が進まない方もたくさん召しあがっていました。入居者様からの「おいしかったわ」「お腹いっぱいや」という満足そうな感想もいただき、すばらしい開設記念行事となりました。(荒木)



《クリスマス》

なでしこユニットではクリスマスの日ケーキの提供とプレゼントをお渡ししました。バナナやみかん、いちごなどのフルーツをトッピングしましたが、イチゴには職員がデコレーションをし、ミニサンタをつくりました。どの入居者様も「美味しい」と好評でした。



プレゼントをお渡しした際にはみなさん「ありがとう」と大変喜んでいました。(國政)



はぎユニットでは今年、クリスマスツリーを新しく購入しました。サンタの帽子や靴などのかわいいオーナメントを入居者のみなさんで飾りつけをしていただき、見事なツリーが完成しました。自分たちで飾りつけをしたクリスマスツリーを見ながらおいしいケーキを食べ、クリスマスプレゼントをもらい、皆様の素敵な笑顔がたくさん見ることができました。



(岸本)

《もちつき大会》

12月28日毎年恒例のもちつき大会を開催しました。当日は12月とは思えないほど陽射しが暖かく、気持ち良い天気の中で実施することができました。石臼と杵が玄関先に用意され、ホカホカに蒸し上がったもち米が運ばれてきます。そして職員が餅をつくたびに「よいしょー!」「よいしょー!」と大きなかけ声を出す方や、「餅つきなんて、いつぶりやろな〜。」と笑顔で見守る方など、それぞれ楽しまれていました。



もちつきの最中、一人のご入居者様が「ワシもやってみよか!」と参加され、見事に餅をついて下さいました。つきたてのお餅は入居者様の手で形を整え、鏡餅にしました。玄関や各ユニットに飾り、良い年を迎えることができました。(西村)



《書初め》

今年も新年の恒例行事のひとつ、書き初めに参加して頂きました。皆様「そんな上手く書けへんでえ」

「私の字は綺麗じゃないから…」と、仰っておられましたが、いざ筆を持つとみなさん達筆で、とてもすばらしい作品ができあがりました。「昔の勘を取り戻してきたわ」と何枚も書いていらっしゃる方もいました。

今回みなさんに書いていただいた「花宴」という字はこの機関誌の題字に使わせていただきます。(雲島)



《鍋パーティー》

冬と言えば「お鍋」!! 1月に新年会を兼ねた鍋パーティーを開催しました。お鍋の用意をしていると、何を

作っているの?と、入居者様も興味深そうなお様子。お鍋が出来上がると、湯気の立った料理を皆さん召し上がり、「美味しいわ」「ええ味してる」と、大好評。皆様へのラーメンまでしっかりと完食しておられました。温かいお鍋をみんなで囲んで食べるという、ご家庭のような雰囲気を楽しんでいただき、入居者様も満足なお様子でした。(真野)



やまぶきユニットでは寄せ鍋を提供しました

《節分》

2月3日節分の日、各ユニットにて豆まきを行いました。4階ではふじユニットに赤鬼と青鬼が現れ、入居者様は大きな声で「鬼は

外～!! 福は内～!!」と言いながら豆を投げました。入居者様の大きな声と、力強く投げた豆で見事鬼退治に成功しました。「楽し



かったわ〜。」「おもいきり投げた!」と、入居者様も大満足のご様子でした。最後は鬼さん達と笑顔でハイチーズ!と記念撮影。皆さんいい笑顔ですね♪
(山川)



《ひなまつり》



3月3日ひなまつりの日の昼食時にみなさんで散らし寿司を食べました。色鮮やかな散らし寿司を提供すると入居者様からは「豪華やな一。おいしそうや。」「綺麗や。食べるのもったいないわ。」と皆様食べる前からうれしそうなお様子でした。普段食事が少ない方もたくさん召し上がっておられ、入居者様の笑顔がたくさん見られたひなまつりでした。(大道)



《12月～3月のイベント食》



行事が盛りだくさんの12月を無事に終え、2024年も施設長からの挨拶とお屠蘇の振る舞いで幕を開けました。1日～3日にかけておせち料理を提供しましたが、入居者様は普段あまり提供されない食材に特別感を感じ、喜んで食されていました。また、お寿司を好まれる方が多い為、月に1～2回はお寿司の提供をしています。2月は節分に助六寿司、2月後半に蟹ちらし寿司、3月はひなまつりにちらし寿司、3月後半に海鮮ちらし寿司を提供しました。入居者様からはどれも好評で「この酢加減は絶品や!!」とお褒めの言葉をいただきました。今後も定期的にお寿司は提供していきたいと思えます。(野崎)



おせち料理 (1月)



助六寿司 (2月)



蟹ちらし寿司 (2月)



海鮮ちらし寿司 (3月)

医務室だより ～～ 骨粗鬆症の予防 ～～

骨粗鬆症の予防には、バランスのよい食事と適度な運動が効果的です。食事では、牛乳などに多く含まれるカルシウムや魚に豊富に含まれるビタミンD、納豆や海藻などに含まれるビタミンK、その他リンやマグネシウムなどを積極的に取り、適量のタンパク質も大切です。喫煙や過度な飲酒は骨粗鬆症の危険因子となるため、控えましょう。気候も暖かくなってきたので、春の日差しを浴びにお散歩するのもいいですね。(小島)



*** ** 編集後記 *** **

少しずつ暖かくなり桜の咲く季節になりました。毎年、この季節になると綺麗な桜を見るのを楽しみにしています。先日、通勤時歩いていると可愛い黄色の蝶々が飛んでいるのを見て、春がそこまで来ているのを感じました。

今後も様々なレクリエーションや行事を実施し、皆様に楽しい様子を発信していきたいと思っています。(服部)



テラスのチューリップが
きれいな花を咲かせました